

みんぱく

映画会

みんぱく創設50周年記念企画展

「客家と日本——華僑華人がつむぐ、もうひとつの東アジア関係史」関連



2024年 **9月8日** (日) 13:30~16:15 (開場13:00)

会場 国立民族学博物館 みんぱくインテリジェントホール(講堂)

要展示観覧券(一般580円) ※イベント参加費は不要

定員 350名

主催 国立民族学博物館

共催 人間文化研究機構グローバル地域研究プログラム
「海域アジア・オセアニア地域研究」(東京都立大学拠点)

協力 台北駐日経済文化代表処台湾文化センター
青睞影視 范健祐

Blue Brave : The Legend of Formosa in 1895

2008年 / 台湾映画 / 客家語・サイシャット語・日本語・閩南語 / 110分 / 日本語字幕付き

監督 洪智育(ホン・ジューイー) 陳義雄(チェン・イーション)

司会 奈良雅史(国立民族学博物館 准教授)

解説 河合洋尚(東京都立大学 准教授)

関西から

文化力
POWER OF
CULTURE



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

みんなく創設50周年記念企画展

「客家と日本——華僑華人がつむぐ、もうひとつの東アジア関係史」関連

みんなく映画会

一八九五

Blue Brave : The Legend of Formosa in 1895

2008年／台湾映画／客家語・サイシャット語・日本語・閩南語／110分／日本語字幕付き

監督 洪智育(ホン・ジューユイ) 陳義雄(チェン・イーション)

みんなく創設50周年記念企画展「客家と日本——華僑華人がつむぐ、もうひとつの東アジア関係史」関連として、台湾映画「一八九五」を上映します。この作品では、日本による植民地化が始まる1895年の台湾を舞台に、客家をはじめとする台湾住民が日本軍に抵抗した状況が、当時軍医として現地に滞在していた若き文豪・森鷗外の視点で語られていきます。初めて客家語を主体とした台湾映画をととして、客家と日本の関係、ならびに台湾における客家の歴史を知っていただきたいと思います。

映画解説

19世紀末、日本が台湾に攻め込んだ時、それに対して立ち上がった地元の義勇軍による抵抗戦争(乙未戦争)を描いた作品。義勇軍の総統である呉湯興とその家族を中心とする客家に焦点が当てられている。日清戦争で清が日本に敗れると、1895年の下関条約で台湾が日本に割譲されることになった。その報を受けて、革命リーダーである丘逢甲は、日本の植民地化に反対して独立を宣言し、台湾各地の郷土たちに抗日義勇軍の結成を呼びかけた。その要請に応じて義勇軍の総統に選ばれたのが、台湾北部の苗栗にいた呉湯興であった。呉湯興は、家族の反対を受けながらも、客家を中心とした義勇軍を結成し、抗日ゲリラの準備を進める。客家義勇軍は、閩南人(ホーロー人)や原住民の援軍を得てゲリラ戦を展開し、北白川宮能久親王を司令官とする日本軍に攻撃をしかける。ところが、戦局が長引くにつれ、義勇軍は食糧不足などにより力尽きる。本作品は、日本帝国軍による台湾接収の歴史を、北白川宮能久親王にともなつて台湾に上陸した若き日の森鷗外の視点から描いている。また、客家語を中心に、日本語、閩南語、サイシャット語など、多言語で展開されるストーリーも見逃せない。(河合洋尚)

「客家」について

客家は、世界最大の民族である漢族の一集団である。一般的な歴史によると、古代王朝の所在地である中原(北方)の民であり、戦乱を逃れるために華南地方の山岳地帯に移住した。さらに、華南地方から世界各地に移住し、華僑・華人の主要な集団の一つとなった。そのうち、一部の客家は、清代に特に広東省から台湾に移住し、桃園、新竹、苗栗などの地に定住した。現在、台湾では、同じ漢族である閩南人が大半を占めるが、約15%の客家が居住している。客家は、他の漢族とは異なる「独特の」言語・文化をもつといわれる。客家には「特有の」パーソナリティがあるともいわれる。客家は、質素・儉約を好み、愛国意識が強く、洪秀全や孫文や丘逢甲のような革命リーダーを輩出してきた、というものである。こうした客家をめぐるイメージは、本作品でも顕著に表されている。(河合洋尚)

河合洋尚 東京都立大学人文社会学部・准教授。博士(社会人類学)。専門は、社会人類学、漢族研究、客家研究。主な著作に『客家——歴史・文化・イメージ』(現代書館、2019年、共著)、『客家と日本』(風響社、近刊、編著)。

お申込みについて

事前申込制(先着順)での開催となります。

代表者を含め2名までお申込み可能です。

【受付期間】2024年8月5日(月)10:00～9月4日(水)16:00

※定員になり次第受付終了。

※解説時に手話通訳が必要な方は、8月16日(金)までにお申込みいただき、その旨をお知らせください。

予約状況はイベント予約サイトでご確認ください。

事前申込の方へ、当日開演の1時間前から本館2階会場前にて展示観覧券を確認後、入場整理券を配布します。

受付期間内に定員に満たない場合のみ当日参加を受付けます。

申込方法

● イベント予約サイトからのお申込み

【イベント予約サイト】

<https://entry-reservation-event.minpaku.ac.jp/>

● 電話でのお申込み 次の必要事項をお知らせください。

- ① イベント名 ② 参加人数(代表者を含め2名まで) ③ 氏名(漢字、フリガナ)
④ 連絡先(固定電話/携帯電話/メールアドレス いずれか) ※③、④は代表者のみ

【申込先】企画課博物館事業係イベント予約受付

Tel:06-6878-8210(10:00～16:00 土日祝および8/7、8/14を除く)

2024年 9月8日(日)
13:30～16:15(開場13:00)

会場 国立民族学博物館

みんなくインテリジェントホール(講堂)

要展示観覧券(一般580円) ※イベント参加費は不要

定員 350名

申込 事前申込制(先着順)

主催 国立民族学博物館

人間文化研究機構グローバル地域研究
プログラム「海域アジア・オセアニア地域
研究」(東京都立大学拠点)

協力 台北駐日経済文化代表処台湾文化センター
青睞影視 范健祐

司会 奈良雅史(国立民族学博物館 准教授)

解説 河合洋尚(東京都立大学 准教授)

<プログラム>

13:30 開会挨拶
13:35 上映開始
15:25 休憩(10分)
15:35 解説/質疑応答
16:05 開会挨拶
16:15 閉会



みんなく創設50周年記念企画展

「客家と日本——華僑華人がつむぐ、もうひとつの東アジア関係史」

2024年9月5日(木)
—12月3日(火)

会場

国立民族学博物館
本館企画展示場

観覧料

一般 580円
大学生 250円
高校生以下無料



乙未戦争の際に義勇軍の要塞として使われた歩月楼(ほげつろう)



イベント予約サイト



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

- 開館時間…………… 10:00～17:00(入館は16:30まで)
●休館日…………… 水曜日(水曜日が祝日の場合は直後の平日)

交通のご案内

- 大阪モノレール…「万博記念公園駅」、「公園東口駅」下車徒歩約15分
●バス…………… 阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分
●乗用車…………… 万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分
※大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。
同園内を無料で通行できます。
※高校生以下の方、国立民族学博物館友の会会員の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんなくへ行くことを申し出いただき、通行証をお受け取りください。
※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

- 観覧料…………… 一般 580円/大学生 250円/高校生以下無料
※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10番1号
企画課 博物館事業係
Tel:06-6878-8210 Fax:06-6878-8242
<https://www.minpaku.ac.jp/>

